

飼料添加剤によるアユのシュードモナス病に対する歩留まり向上対策

佐野 聡哉

◆背景・目的

近年、薬剤使用制限の強化および薬剤耐性菌の増加などにより、薬剤による疾病対策を行うことが難しくなっている。

本研究では、市販飼料にオリゴ糖、種々の酸や糖（クエン酸、乳酸、乳糖、マンノース等）の混合物（以下酸糖混合物）および食酢を添加し、投与することにより、アユのシュードモナス病に対する歩留まりの向上を試みた。

◆成果の内容・特徴

- ・オリゴ糖、酸糖混合物および食酢を添加した市販飼料をアユに所定期間投与した後、シュードモナス病原菌による経口感染攻撃を行った。攻撃試験中も引き続き同様の添加飼料を与えた。
- ・酸糖混合物10%添加および食酢10%添加飼料を投与したアユにおいて、シュードモナス病に対する歩留まりの有意な向上が認められた。

◆成果の活用・留意点

- ・今後は、本研究で用いた添加剤の最適な濃度および投与期間を検討するとともに、添加剤がアユ体内でどのように作用しているのかを調査する必要がある。

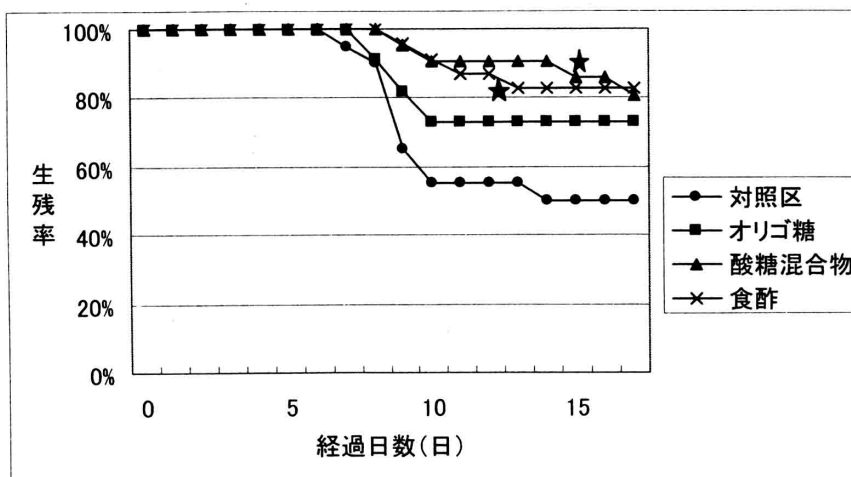


図. オリゴ糖、酸糖混合物および食酢を市販飼料に各10%添加した餌を11日間投与したアユにおけるシュードモナス病原菌感染攻撃後の生残率の推移。

★: 対照区と試験区で有意差あり(Fisherの直接確率計算法: $P < 0.05$)